アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書　取扱説明書

ダイケンリビングドアシリーズ

引戸用フラットレール（2枚片引・3枚片引・3枚引違用）

この説明書は、施工上重要な項目が記載されています。施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
使用後は必ずお施主様にお渡しください。

⚠ 使用上注意

●扉の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。扉が破損したり脱落する恐れがあります。
●扉と枠の間や扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
●レールにゴミなどがたまると扉の脱落の原因となります。ゴミなどは取り除いてください。
●カバー部が外れていると転倒、破損の原因となります。カバー部は取り外さないでください。

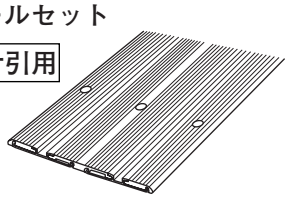
⚠ 施工上注意

●本製品は床仕上材が木質フロアー以外のところにはご使用いただけません。
クッション性のあるフロアには使用しないでください。
●本製品の取付部分には木下地が必要です。必ず下地があることを確かめてください。
●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。扉が閉まりにくくなったり脱落する恐れがあります。
●施工前に本製品を曲げたりしないでください。施工できなくなります。
●取付部分の床に不陸・段差のないことを確認してください。床に不陸・段差のある場合、扉が脱落する恐れがあります。
●本製品は現場でのカットはできません。
●本製品には鋭利な部分があります。取扱いにご注意ください。

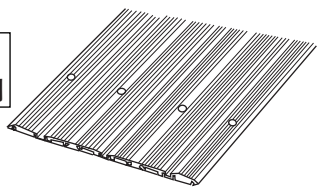
部　品　図

①レールセット

2枚片引用



3枚引違・
3枚片引用



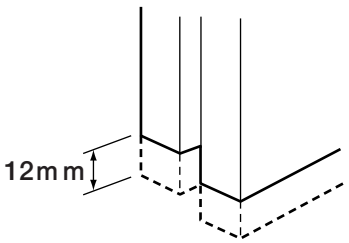
②ビス

③エンド部材

	部品名称	数　量	備　考	レール長さ・ビス数量		
				3215巾用	2465巾用	2395巾用
①	レールセット 3枚引違用	1		—	—	L=2334
①	レールセット 2枚片引用	1		—	L=2404	—
①	レールセット 3枚片引用	1		L=3154	—	—
②	ビス	右表	φ3.2×16	48	27	36
③	エンド部材	右表		1	1	2
④	施工説明書 取扱説明書	1				

施工の前に

●施工される床の上のゴミを取り除いてください。
●縦枠、控壁縦枠および方立の下端を12mmカットしてください。



●枠に同梱の施工説明書手順に従って、開口部へ枠を取付けてください。

大建工業株式会社

R3-FRH-101122

施工手順

取付ビス（φ3.2×16）

2枚片引・3枚片引の場合

①戸じゃくりのない枠側から下の施工用型紙を使って位置決めし、同梱のビス（φ3.2×16）で端部より2番目の穴からレールを仮固定してください。
※レールは枠にぴったりと合わせて取付けてください。
②レールの反対側を戸じゃくりのセンターとなるように位置決めして、ビスにて仮固定してください。

3枚引違の場合

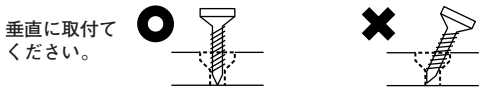
①片側の枠から下の施工用型紙を使って位置決めし、同梱のビス（φ3.2×16）で端部より2番目の穴からレールを仮固定してください。
②反対側の枠に①と同じ手順でレールを取付けてください。

共　通

③扉をはめ込み、開閉できることを確認してください。
④レールの取付穴から残りのビスでレールを本固定してください。
⑤戸じゃくり部に、エンド部材を取付けてください。
※エンド部材が納まらない場合にはカットして取付けてください。

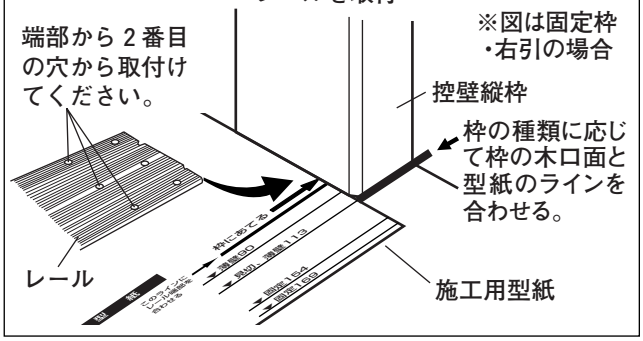
⚠注意

・取付ビスは垂直に取付けてください。レールが浮いたり、ビスの頭が飛び出すことでケガをする恐れがあります。

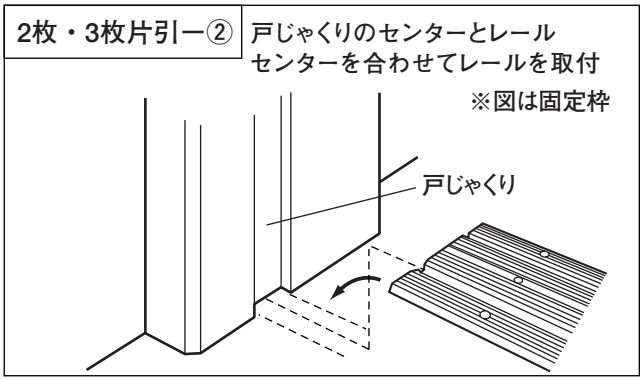


・取付後レールが曲がっていないことを確認してください。レールが曲がっていた場合、扉が脱落する恐れがあります。
このような場合、再度枠の建てつけ調整を行ってください。
・電動ドライバー等で床およびレール表面を傷つけないよう注意ください。

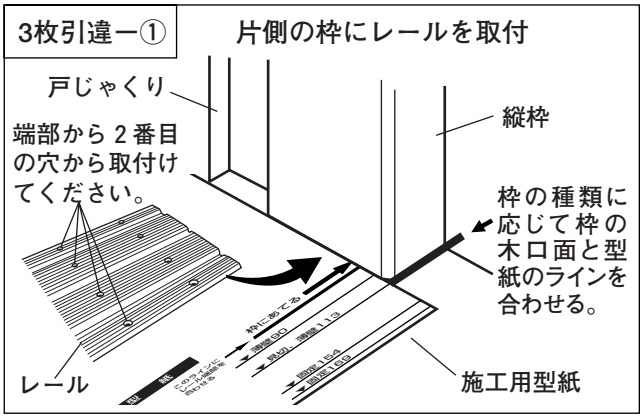
2枚・3枚片引ー①　戸じゃくりのない枠側にレールを取付



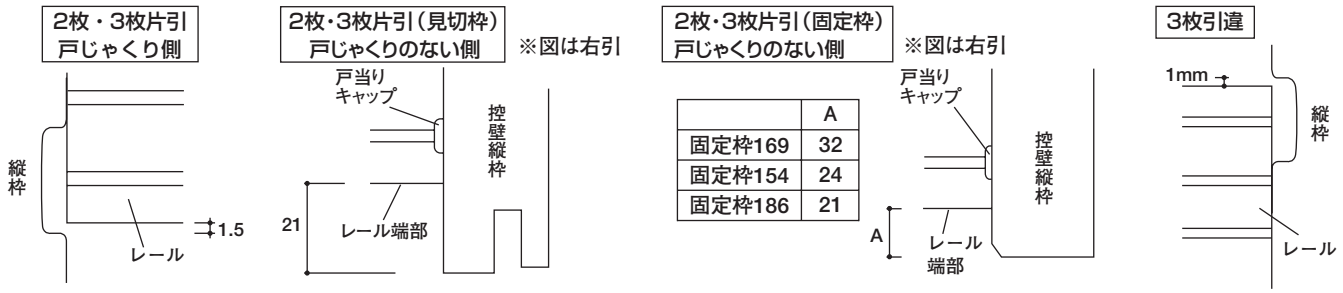
2枚・3枚片引ー②　戸じゃくりのセンターとレールセンターを合わせてレールを取付



3枚引違ー①　片側の枠にレールを取付



【レールの取付位置】



	A
固定枠169	32
固定枠154	24
固定枠186	21

施　工　用　型　紙

枠にあてる

このラインにレール端部を合わせる

・2枚片引
3枚片引
ー左引
の場合

▼見切、固定186
▲固定154
▲固定169

枠にあてる

このラインにレール端部を合わせる

・2枚片引
3枚片引
ー右引
・3枚引違
の場合

▼見切、固定186
▲固定154
▲固定169